

町村から日本を変える

東京大学名誉教授 月尾 嘉男

機会をいただきましたので、全国の町村長の皆さまに日本を立て直していただきたいというメッセージを送らせていただきます。

現在の日本は世界の中で大変な状況にあります。ロシア、中国、北朝鮮の圧力という外圧だけではなく、内部崩壊が進んでいるのです。

例えば、スイスのシンクタンクが毎年、300以上のデータを駆使して世界60カ国ほどの競争力順位を発表していますが、1990年代前半、日本は数年間続けてアメリカを抑えて世界1位でした。そこから急速に低下し、現在では34位に低下しています。全体の半分の位置です。

DXを合言葉とするデジタル社会が始まっています。これについてもスイスのシンクタンクが63カ国のデジタル競争力を評価していますが、日本は現在29位という低い評価です。アジアでは、香港、シンガポール、台湾、韓国、中国が日本より上位に評価されています。自然科学分野の引用論文数は世界12位です。現在、中国が1位になり、インドも日本より上位です。さらに上場企業の世界時価総額ランキングにおいて、1989年には上位20位のうち日本企業が14を占めておりましたが、現在はゼロです。

これが現在の世界における日本の地位であり、危機感を持

っていただきたいと思います。

この状況を変える方法は国という中心からではなく地域という周辺から変える以外にありません。これは歴史が証明しています。

例えば、中国の王朝の交代はいつも周辺の民族からの圧力です。宋は周辺のモンゴル民族が滅ぼし、明は周辺の満州族が滅ぼしたように周辺の民族の力で歴史が変わってきました。日本の典型的な例は明治維新です。薩長土肥という日本の辺境にあった地域が新しい日本を作りました。

このように国が変わるのは中心からではないということを世界の歴史が証明しており、そういう意味でも町村の皆様にご期待しております。

そのようなことができるのかと思われるかもしれませんが、私が関係した実例をご紹介します。1990年代後半に、改革派と言われた8人の知事と「地域から変わる日本」という組織を立ち上げ、日本を変えようという運動を行いました。当初は自治省の役人から「目立ちたがりの知事ばかり集まっても何もできない」と言われましたが成果はありました。それまで全国知事会会長には東京などの大都会を持つ都道府県の知事が推挙されて就任していましたが、第9代の全国知事会会長は選挙で選ばれた岐阜県の梶原知事が就任されました。最近では第13代に人口は少ない方から4番目の徳島県の飯泉知事が就任され、現在は全国で人口が最も少ない鳥取県の平井知事が選ばれています。

これは十数年間の地域から日本を変えようという動きが

大きく作用した結果だと思えます。その視点で歴史を見ると、社会は地域の改革精神にあふれた人々が変わってきたのです。本日は会場に、その名前にふさわしい方々がお揃いではないかと思っております。

大変な危機が迫っている現在の日本をぜひ本日お集まりの地域の皆様から変えていただきたいということをお願いして、私のささやかな挨拶とさせていただきます。